

県域 絶滅危惧Ⅱ類



環境省レッドリスト(2018) 準絶滅危惧(NT)

県内の各地でヤマメの放流が盛んに行われ生息数は増えている。九頭竜川産 全長:約20cm

サケ科 サケ属

【全長】25cm

## ヤマメ(陸封型)

学名: *Oncorhynchus masou masou*

### 分布域

北海道と山口県以北の本州日本海側  
・神奈川県以北の太平洋側・九州の  
一部に分布する。

### 生息域

河川の中流域～上流域。一生を  
淡水域で過ごす。河川残留型。



「溪流の女王」と呼ばれる。九頭竜川産

ヤマメとサクラマスは同種で、河川残留型を「ヤマメ」と呼ぶ。体形はやや側扁し吻は丸い。尾鰭の切れ込みはやや深い。体色は背面が緑色を帯びた黄褐色で腹面は白色。体側には黒いパーマークが並び、側線部はうっすらと紅色を帯びる。側線より上には小黒点が散在する。胸鰭は淡黄色で背鰭や腹鰭・尾鰭の外縁部などが赤く色付く。福井県では移入魚のアマゴの放流が盛んに行なわれ、在来種の子ヤマメとの交雑が進み、純粋なヤマメは危機的な状態にあるとまで言われた。

水槽での飼育は可能だが、稚魚期から飼育しないと配合飼料に慣れにくい。夏季の水温上昇に弱く注意したい。

在来種

陸封型

※ 水産資源として近縁のアマゴを放流してきた為、アマゴとの交雑が進み天然の子ヤマメは一部にか残っていないといわれる。やっとな2013年にアマゴの放流が禁止された。